

**アロプリノール錠「タナベ」を
お飲みになる患者さんにお伝えください**

服薬指導ガイド

医師又は薬剤師のみなさまへ

アロプリノール服用後の重大な副作用として、スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死融解症等の皮膚症状、ショック、アナフィラキシー、再生不良性貧血、汎血球減少等の血液障害、劇症肝炎等の肝障害、腎不全等の腎障害、間質性肺炎、横紋筋融解症の発現に特に注意することが必要です。

これらの副作用の初期症状が認められた場合には、アロプリノールの投与を中止し、すぐに医師又は薬剤師へ相談するよう、患者さんへご指導をお願いいたします。

本剤の実際の使用に際し、詳細は製品添付文書等
をご参照ください。

アロプリノール錠「タナベ」を お飲みになる患者さんへ

このおくすりは、高尿酸血症（血液中の尿酸が多くなる状態）や痛風（血液中の尿酸が多くなって起こる病気）の治療に用いられます。

体内で尿酸が作られるのを抑え、血液中の尿酸の量を低下させるおくすりです。

おくすりをお飲みになる前に…

- 以前におくすりを飲んで、発疹などが出たことがある。
- 肝臓の病気がある、あるいは過去にかかったことがある。
- 腎臓の病気がある。

などがあれば、このおくすりをお飲みになる前に医師又は薬剤師にお伝えください。

飲み始めた後は…

このおくすりを飲み始めた後、まれではありますが、重篤な副作用があらわれることがあります。裏面に示すような症状があらわれたら、服用を中止し、すぐに医師又は薬剤師にご相談ください。

次のような症状に気づいたときには、**服用を中止し、すぐに医師又は薬剤師にご相談**ください。

発熱、発疹、のどの痛み、全身がだるい、食欲がない

また、この他にも、何か変だなと感じた場合には、すぐに医師又は薬剤師にご相談ください。

副作用の初期症状

このおくすりを飲み始めた後、まれに見られる重篤な副作用の初期症状は以下の通りです。

皮膚の障害

- ◆発熱、発疹、のどの痛み、関節の痛みなどの感冒様症状、皮膚が斑状に赤くなる、眼が充血する、口の中がアザがあるなどがあらわれた場合。

血液の障害

- ◆発熱、あるいはさむけがする、のどが痛い、全身がだるい、顔やまぶたのうらが白っぽい、出血しやすくなる（歯ぐきの出血、鼻血など）、青あざができる（押しても色が消えない）、気分が悪くなりくらっとする（貧血の症状）などがあらわれた場合。

肝臓の障害

- ◆食欲がない、全身がひどくだるい、皮膚や白目が黄色くなる、尿の色が濃く（茶色く）なった、体がかゆくなる、発疹が出たなどがあらわれた場合。

製品に関するお問い合わせ先

ニプロ株式会社 医薬品情報室

☎ 0120-226-898

受付時間：9時～17時15分（月～金、祝日・弊社休業日を除く）

ニプロESファーマ株式会社